

熊本県

信用保証協会

社長ひとりで悩まないで 困った時こそ頼られる 「相談相手」に

熊本県信用保証協会は、事業者の資金ニーズに対する信用保証だけでなく、経営支援にも力を注ぎ、この両輪で県内企業を支えています。地元金融機関などとネットワークを築き、中小企業活性化協議会とも連携。「信用保証では“交渉相手”と思われがちですが、悩みごとの『相談相手』として



頼ってほしい」と呼びかけています。

「総力を挙げて支えます」と話す（左から）笹岡氏、山田氏、松本氏

円安や人材難が重荷に

信用保証は、中小企業などが金融機関から融資を受ける際、債務の保証人となって資金調達をサポートするものです。一方、財務診断や経営相談などで事業者の基盤強化を支えるのが経営支援です。

県内では、台湾の半導体大手「TSMC」の進出で特需が生まれる一方、人件費の高騰などで飲食店が閉店に追い込まれたケースもあります。好調・苦戦の二極化もあり、地場中小企業を取り巻く環境は依然厳しいと感じています。

当協会が2024年夏に行った県内企業のアンケート（約500社回答）では、新型コロナ

ウィルスの5類移行による影響は「ない」と回答した割合が55%であった一方、円安・原油高・原材料価格高騰の悪影響は「ある」が87%、人材確保が「円滑に進まない」は66%に上りました。

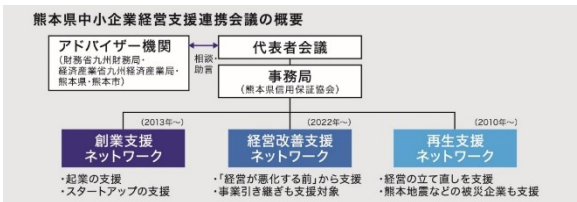
実際に、返済できなくなった債務を立て替える代位弁済も増加傾向にあります。そのため、当協会は金融機関や各支援機関と連携し、早期に経営支援を行う必要があると考えています。

サポートは社会的使命

危機にある企業をサポートすることこそ、信用保証協会の社会的使命です。

当協会は2010年6月、県内の金融機関や商工・士業団体などと、中小企業の再生を支援する組織を設立。「熊本県中小企業経営支援連携会議」として2013年12月から創業支援にも取り組み、2016年4月の熊本地震で被災した企業の復興も後押ししてきました。

2022年1月に会議内に新設した「経営改善支援ネットワーク(以下、NW)」では、「再生支援」より早い段階から、金融面を含む経営改善のサポートを進めています。



2023年にNWで支援した建設関係の会社は、支援開始前は赤字が2期続き、資金繰りに心配がありました。代表者に当協会から働きかけて、現況や見通しのヒアリングを行い、NWでの対応を決定。面談を重ねて代表者と金融機関の要望を共有し、中小企業診断士と連携して経営改善計画の作成を支えました。

同社の強みを生かした事業プランと収支計画が完成し、毎月のモニタリングも実施。次年度の決算では早速、収益面が大幅に改善し、決算報告に訪れた代表者は「以前、ヒアリングで呼ばれた時は本当に嫌な気持ちだったが、今日は喜んでやって来ました」と笑顔で話してくれました。

活性化協議会との連携



経営相談課 課長 笹岡 辰三氏

中小企業活性化協議会（以下、協議会）と連携するケースもあります。

ある老舗飲食店は、新規出店と設備更新の直後にコロナ禍に見舞われて資金繰りに窮し、メインバンクが協議会に支援を要請。2021年春に3か年の経営改善計画（暫定計画）を策定し、返済能力に見合った借り換えなどを経て、コロナ禍が一服した後の来店客増加により業績がV字回復しました。



経営支援課 副課長山田 伸哉氏

取引する金融機関が多いときや、精緻な計画が必要なときは、協議会による対応がスムーズな場合もあります。

協議会は国の事業として運営されており、第三者の立場から金融面の調整役を担えます。コンサルタントを含めて専門家の人脈が広く、業種に合わせた助言ができ、より経営者の納得感を得られる対応ができます。



経営支援課 課長代理松本 悠一郎氏

2024年度からは信用保証協会が直接、協議会へ案件を持ち込めるようになりました。今後も必要に応じて連携し、各企業に適した解決策を示せるようにしていきます。



チームワークで地域の発展に尽力

「一緒に悩ませて」

当協会では計画策定を支援する際、ローカルベンチマーク（ロカベン）を活用し、経営者と対話しながら必要項目を入力することで、会社の弱みだけでなく強みも把握できるようにしています。さらに各機関の力も借りて、ロカベンだけでは見えない強みもあぶり出し、継続可能な事業・財務計画をつくるよう心がけています。

ローカルベンチマーク(略称・ロカベン)

経済産業省が作成した、
企業の経営状態を把握するツール。

経営者と金融機関・支援機関等が対話しながら入力することで、会社の現状・課題の相互理解を図り、経営改善を目指す。



経営者は孤独で、悩みを一人で抱え込むことも珍しくありませんが、「社長ひとりで悩まず、一緒に悩ませてください」と申し上げたいです。1社でも多く黒字化・収益改善ができるように、また、「ありがとう」と言っていただけるように総力を挙げて取り組みますので、まずは悩みをご相談ください。



< 熊本県信用保証協会 >

熊本県八代市、天草市に支所を置く。役職員79人(2024年3月時点)。保証債務残高は2,807億5,400万円(同月末時点)。2024~26年度の中期事業計画のスローガンは「変革~中小企業のサポーターとしての総力をあげた挑戦~」。事業者へ能動的に働きかける「プッシュ型支援」の促進などを掲げている。

本所・熊本市中央区南熊本 4-1-1。

<https://www.kumamoto-cgc.or.jp/>

詳しくはこちら

